

長野県JAバンクにおける 地域密着型金融の 取組状況について (令和6年度)



©よりぞう

令和7年10月

はじめに

- 長野県JAバンク（長野県下JAと長野県信用農業協同組合連合会）では、農業と地域社会に貢献するため、地域密着型金融の推進に取り組んで参りました。
- 令和6年度の実績状況についてご報告いたします。



目次

1. 農山村等地域活性化のための融資をはじめとする支援 P.3
2. 担い手の経営ライフステージに応じた支援 P.13
3. 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、
担い手に適した資金供給手法の徹底 P.18
4. 地域密着型金融の取組事例について P.20

1. 農山村等地域活性化のための融資をはじめとする支援

長野県JAバンクは、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取り組みを行っています。

農業融資商品の適切な開発・提供

担い手のニーズに応えるための取り組み

JA内部門間連携の強化

1. 農山村等地域活性化のための融資をはじめとする支援

農業融資商品の適切な開発・提供①

- 長野県JAバンクは、JA独自の農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取り扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。
- 令和7年3月末時点の農業関係資金（※1）残高は53,213百万円、日本政策金融公庫の受託貸付金（※2）残高は9,807百万円です。

（※1）農業関係資金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。

（※2）長野県JAバンクが農業者の窓口となり、日本政策金融公庫の貸付金の受託取り扱いを行っています。

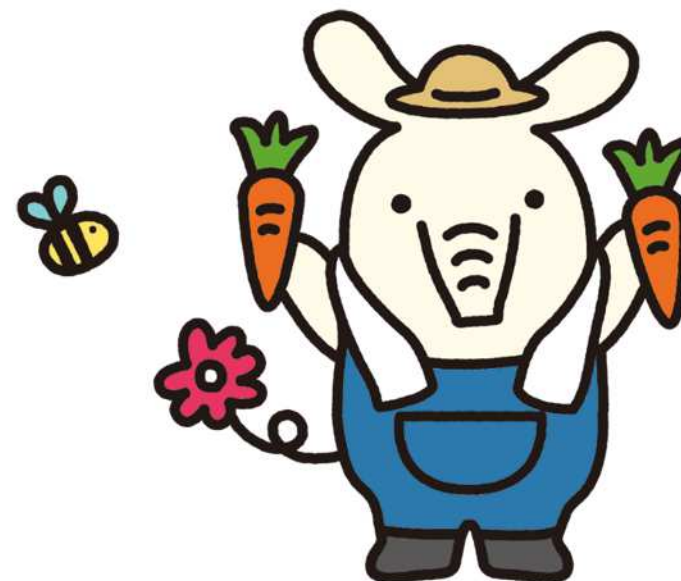
1. 農山村等地域活性化のための融資をはじめとする支援

農業融資商品の適切な開発・提供②

■ 営農類型別農業資金残高

令和7年3月末現在（単位：百万円）

農業	34,552
穀作	4,358
野菜・園芸	16,236
果樹・樹園農業	3,972
工芸作物	1
養豚・肉牛・酪農	2,151
養鶏・鶏卵	105
養蚕	0
その他農業（※1）	7,729
農業関連団体等（※2）	18,661
合計	53,213



（※1）「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられないもの、農業サービス業が含まれています。

（※2）「農業関連団体等」には、JAや厚生連、全農とその子会社等に対する貸出金が含まれています。

1. 農山村等地域活性化のための融資をはじめとする支援

農業融資商品の適切な開発・提供③

■ 資金種類別農業資金残高

令和7年3月末現在（単位：百万円）	
プロパー資金（※1）	47,107
農業制度資金（※2）	6,106
合計	53,213

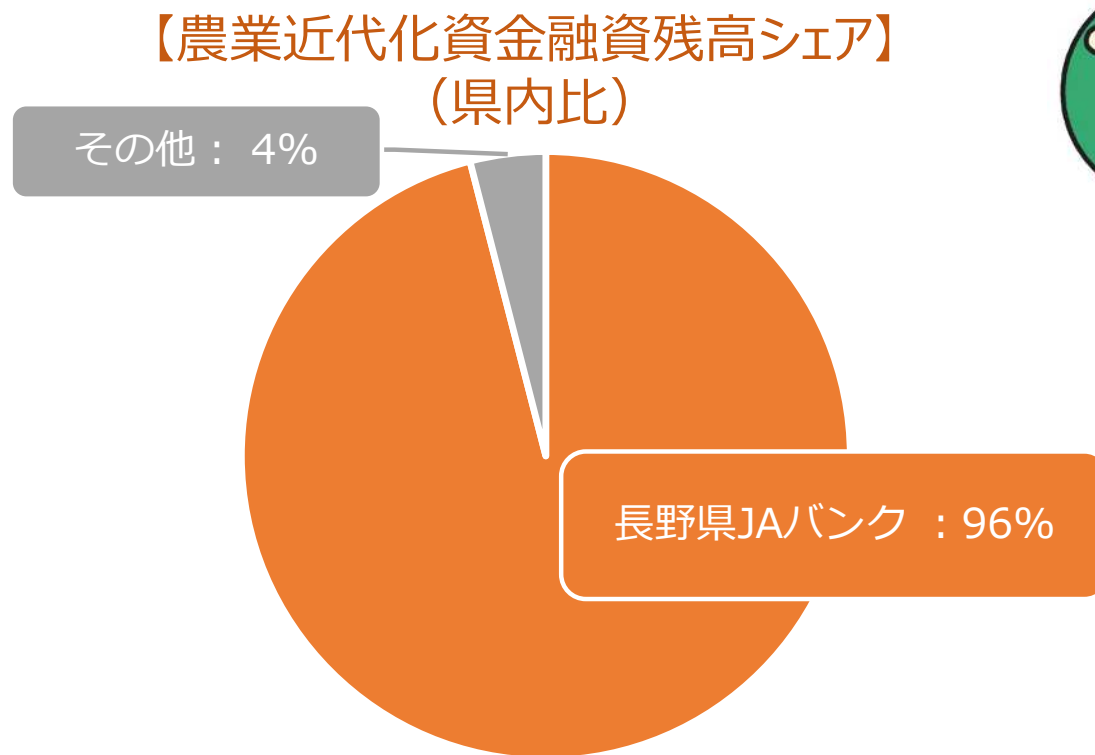
（※1）「プロパー資金」とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものを対象としています。

（※2）「農業制度資金」は、①地方公共団体もしくは日本政策金融公庫の資金を長野県JAバンクが転貸で融資するもの、②地方公共団体が利子補給を行うことで長野県JAバンクが低利で融資するものを対象としています。

1. 農山村等地域活性化のための融資をはじめとする支援

農業融資商品の適切な開発・提供④

- 長野県JAバンクの農業近代化資金の取り扱いは、県内トップシェアとなっています。



(令和7年3月末時点)
数値提供：長野県農政部

1. 農山村等地域活性化のための融資をはじめとする支援

担い手のニーズに応えるための取り組み①

- 長野県JAバンクでは、地域の農業者のニーズに応えるため、様々な取り組みを行っています。
- JAでは、本所・支所の農業融資担当者が営農・経済部門等と連携しながら、農業融資に関する資金提案や経営相談対応等を実施しています。
- これを支える体制として、豊富な農業金融知識を持った農業融資の実務リーダーである「担い手金融リーダー」を47名配置しました。



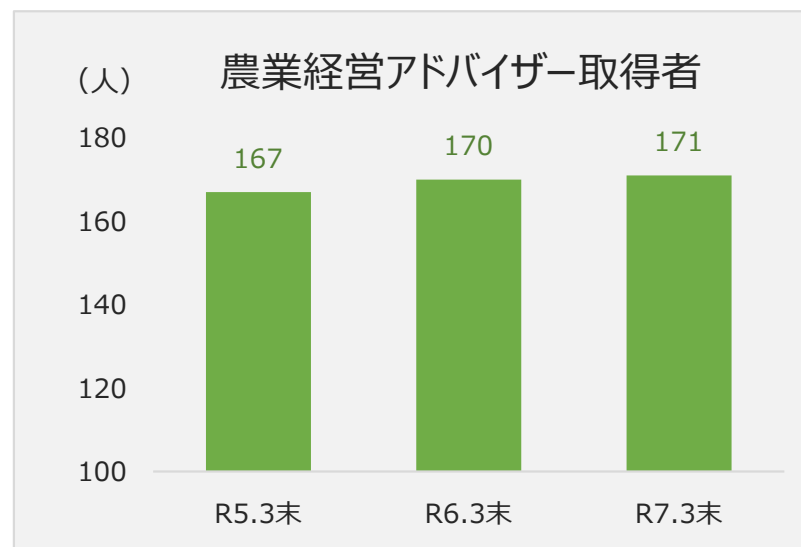
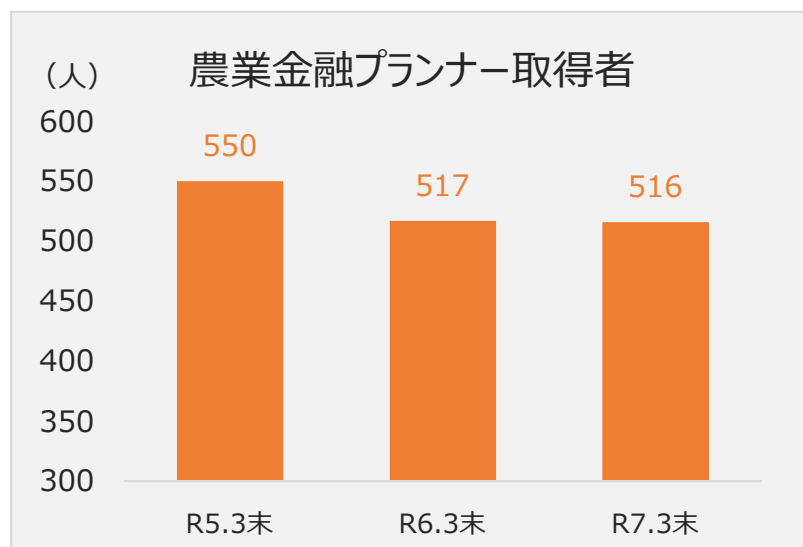
1. 農山村等地域活性化のための融資をはじめとする支援

担い手のニーズに応えるための取り組み②

- 長野県JAバンクでは、農業金融に関する知識・ノウハウの一層の充実を図り、多様化・専門化する農業者の金融ニーズに応えていくため、農業融資の実務に即した資格の取得に取り組んでいます。
- 令和6年3月末時点において、**JAバンク農業金融プランナー**（※1）は**516名**、**農業経営アドバイザー**（※2）は**171名**が取得しています。

（※1）農業金融プランナーとは、平成23年度より導入しているJA系統独自の農業融資資格制度です。

（※2）農業経営アドバイザーとは、農業経営者のニーズに対応し、経営への総合的かつ的確なアドバイスを実践できる人材を育成するために日本政策金融公庫が平成17年に創設した人材育成制度です。



1. 農山村等地域活性化のための融資をはじめとする支援

担い手のニーズに応えるための取り組み③

【令和6年度実績】

事業名	概要	実績	
		件数	助成額
農業近代化資金 保証料助成事業	農業近代化資金借入時に長野県農業信用基金協会へ支払う 保証料を全額助成	104件	17百万円
戦略資金 保証料助成事業	戦略資金(※)借入時に長野県農業信用基金協会へ支払う 保証料を全額助成 (※) JAアグリマイティローン、JA農機ハウスローン、その他JA独自資金	604件	39百万円

事業名	概要	実績	
		件数	助成額
JAバンク利子補給	対象となる農業資金(※)の借入に対し最大年1%の利子補給を実施 (※) JAアグリマイティローン、JA農機ハウスローン、農業近代化資金等	3,434件	68百万円

1. 農山村等地域活性化のための融資をはじめとする支援

JA内部部門間連携の強化

- 平成29年度より、信連職員が講師となり、JA向けに「**農業融資カスタム研修会**」(旧：農業融資パッケージ研修会)を開催しています。参加者は金融部門職員にとどまらず営農・経済部門の職員も対象としており、研修会を通じて、部門間連携強化を図っています。
- 令和7年3月末現在で延べ3,815名が参加しています。

農業融資カスタム研修会

内容	● 農業資金の全体概要 ● 農業経営改善資金計画書作成演習 ● 農業近代化資金の詳細説明等
対象者	JA職員（金融・営農・経済部門の幅広い職員が対象）
講師	長野県信連農業部職員
研修会場	各JAで実施（講師が各JAへ訪問） またはWEB会議システムにより実施



2. 担い手の経営ライフステージに応じた支援

長野県JAバンクでは、担い手をサポートするため、ライフステージに応じて、次の取り組みを行っています。

次世代農業者の育成支援

災害等への支援

生産資材等価格高騰影響にかかる支援

経営不振農家の経営改善支援

2. 担い手の経営ライフステージに応じた支援

次世代農業者の育成支援

- 長野県JAバンクでは、新規就農者の農業経営と生活をサポートするため、新規就農者向けの様々な商品を取り扱っています。

【新規就農者向け資金の取扱実績】

令和6年度実績	新規実行		令和7年3月末残高
	件数	実行額	
青年等就農資金	105件	438百万円	2,407百万円
就農支援資金（※）	—	—	8百万円
JA新規就農応援資金	15件	56百万円	117百万円
その他資金	32件	67百万円	158百万円
合計	152件	561百万円	2,690百万円

（※）青年等就農資金の前身の資金であり、現在新規実行の取り扱いはありません。

2. 担い手の経営ライフステージに応じた支援

災害等への支援①

- 長野県JAバンクでは災害等の影響を受けた組合員等に対し、低利な災害対策資金対応を実施しています。

事象	JA	資金名	内容	令和6年度新規実行	
				件数	実行額
災害等	長野県JAバンク	セーフティネット資金(災害・コロナ・ウクライナ)	セーフティネット資金にて対応。	7件	49百万円
		JAアグリマイティーローン(災害緊急資金)	令和5年度に発生した大雪・凍霜害・降雹害等による影響を受けた組合員に対し、JAバンク利子補給対象資金にて低利対応を実施。	8件	17百万円
		JAアグリマイティーローン(災害緊急資金)	令和6年度に発生した大雨および降雹被害による影響を受けた組合員に対し、JAバンク利子補給対象資金にて低利対応を実施。	3件	12百万円
	JA佐久浅間 JAあづみ JA中野市 JAながの	令和5年度凍霜害対策資金	令和5年度凍霜害の影響を受けた組合員を対象とした左記資金を創設。行政等の利子補給やJAバンクの保証料助成により借入負担を軽減。	9件	19百万円

2. 担い手の経営ライフステージに応じた支援

災害等への支援②

事象	JA	資金名	内容	令和6年度新規実行	
				件数	実行額
その他	JAながの	山ノ内町ががんばる農業応援資金	農業者が経営の近代化・安定化・経営の規模拡大・効率化及び災害に伴う経営復興を図るとき、また、後継者及び新規就農者が農業を営む上で必要な資金を融資をする事を目的とし、町とJAからの利子助成により低利な金利で対応。	9件	15百万円
	JAながの	菌茸季節対応資金・きのこ特別運転資金	競合産地の増加等により、菌茸販売価格は低迷し、加えて季節的に販売価格差が顕著に現れており、経営に重大な影響が出ている。 菌茸生産農家からは季節的に資金の枯渇するときの対応の要請があり、果樹生産農家の前渡金制度の代わりとなる資金対応を行い、菌茸生産農家の経営安定を図る。	5件	17百万円

2. 担い手の経営ライフステージに応じた支援

経営不振農家の経営改善支援

- 長野県JAバンクでは、負債整理資金の対応等にあたり再生計画の策定支援や経営指導など、農業者の経営支援に取り組んでいます。

【経営不振農業者の経営改善支援等の取組実績】

		期初経営改善支援取組先 A (先数)	Aのうち再生計画を策定した先数 a	Aのうち期末に債務者区分がランクアップした先数 b	Aのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数 c	再生計画策定率 = a/A	ランクアップ率 = b/A
正常先①		16	0	0	4	0.0%	—
要注意先	うちその他要注意先②	20	0	0	8	0.0%	0.0%
	うち要管理先③	0	0	0	0	0.0%	0.0%
破綻懸念先④		32	7	0	15	21.9%	0.0%
実質破綻先⑤		19	2	0	10	10.5%	0.0%
破綻先⑥		0	0	0	0	—	—
小計(②～⑥の計)		71	9	0	33	12.7%	0.0%
合計		87	9	0	37	10.3%	0.0%

3. 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、 担い手に適した資金供給手法の徹底

長野県JAバンクでは、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

資本供与の取り組み（ファンドの活用）

動産担保融資の活用

3. 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、 担い手に適した資金供給手法の徹底

資本供与の取り組み（ファンドの活用）

- 長野県JAバンクでは、農業振興や環境に貢献する取り組みを行う企業に投資し、その成長を支援しています。

【アグリシードファンド活用実績】

出資件数	出資額
13件	133百万円



農業法人のみなさまへ

アグリシードファンド

新たな農業法人投資育成の仕組みのご案内

●JAバンクでは、農業法人投資育成制度を実施するアグリビジネス投資育成株式会社（以下、アグリ社）と連携し、農業法人のみなさまにとってより活用しやすい資本ご提供（議決権のない資本※1、※2）の枠組みを新設いたしました。

●以下の基準に該当されるお客様は、アグリ社による投資育成制度を活用し、自己資本を増強することが可能です。（ただし、アグリ社による個別審査があります。※3、※4）

基本的な条件

●農業法人もしくは農業に関する事業を営む法人であること
●会計は簿式簿記により行っていること
●計算書類を毎に1回以上作成していること など（※5）

①10万円未満の資本金に該当する（アグリシードファンド）ための条件（全て該当）

- 直近の決算において債務超過でないこと（5年以内に返済可能な債務超過含む）
- 経営者は過去3年連続赤字でないこと
- 経営者が農業関連事業の経験者であること
- 金融機関からの借入金金の返済は当期条件より滞りないこと（当期条件より滞りなく、現時点において計画通りの返済が行われていること）

②10万円を超える資本金に該当する（アグリシードファンド）ための条件（全て該当）

- 直近の決算において債務超過でないこと
- 経営者は過去3年平均すると赤字であること
- 農業等に關する経験に相当の経験を有する者が経営すること
- 法人設立3年未満であること（または個人経営などで同等の実績があること）
- 金融機関からの借入金金の返済は当期条件より滞りないこと

※1 農業法人に限り、議決権付となります。
※2 経理簿記の簿式簿記に準拠し、アグリ社から投資法人に対して、簿式等について議決権を行使していただきます。
※3 信用保証の保証については、アグリ社からの保証に準拠いたします。
※4 この制度は、農業法人の成長を支援する目的として、アグリ社が個別審査を行いますので、上記条件を満たしてもアグリ社からの出資を受ける場合があります。

動産担保融資の活用

- 長野県JAバンクでは、農畜産物や機械・設備などの動産を担保とした融資を行い、不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資等への取り組みを行っております。

4. 地域密着型金融の取組事例について

- 長野県JAバンクでは、地域社会へ貢献するため、次の取り組みを行っています。

農業経営課題への対応

食農バリューチェーン構築による農業・地域の成長支援
(商談会・ビジネスマッチング)

県下JAの取組
～『融資で後押しがんばる農家応援事業Ⅱ』(JA信州諏訪)～

懸賞品付定期貯金「Slow風土」

4. 地域密着型金融の取組事例について

農業経営課題への対応

- 農業者の高齢化や後継者不足等の社会課題に加え、農業生産資材価格高騰や度重なる自然災害・気候変動は農業者の収支面や農業経営の持続性に大きな影響を及ぼしています。
- このような状況下、JAバンクでは「農業者の経営課題を捕捉」し、「解決策を検討・提案」する取り組みを行っています。

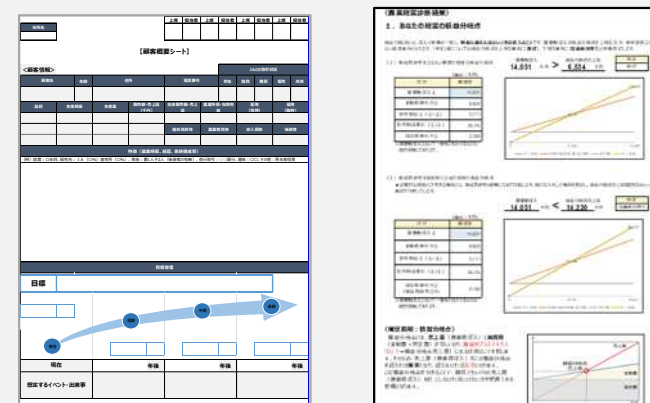
担い手コンサル

- 担い手コンサルは地域の担い手に対し、『信用事業による事業性評価（財務分析等による経営課題の見える化）』、『営農事業の知見を活かしたソリューション提供』することで、担い手の経営課題解決・成長支援に取り組んでいます。
- JAが中心に取り組む中、信連・農林中金がコンサルの初期導入および取組自走化のサポートをしています。
- 担い手からは、「課題やビジョンが明確になった」、「JAならではのソリューション提案があった」等の声をいただいています。

経営課題ヒアリングシート・簡易経営分析ツール

- 経営課題ヒアリングシートは、農業者が日頃感じている課題をヒアリングするシートであり、ヒアリングした経営課題について営農経済部門や各関係機関を通じた解決策を検討・提案します。
- 簡易経営分析ツールは、農業者の決算書類の内容から損益分岐点売上や経営指標を算出し、また県指標比較により農業経営における現在の立ち位置を客観的に把握することで強みや弱み(改善すべきポイント)が明確になります。
- 上記を活用し、農業者の経営課題捕捉に取り組んでおります。

経営課題ヒアリングシート 簡易経営分析ツール



4. 地域密着型金融の取組事例について

食農バリューチェーン構築による農業・地域の成長支援(商談会・ビジネスマッチング)

- 長野県JAバンクでは、農業者の成長支援および経営課題の解決の一助となるよう信連・農林中金の取引先等が有する「ソリューション」等の情報提供を目的とした、「食農バリューチェーン連携Web会議」を開催しています。

食農バリューチェーン連携WEB会議

開催日	第1回：R6.6.10、第2回：R7.1.22
主催	長野県信連 農業部、営業統括部
協力	全農長野県本部 担い手推進センター／長野中央会 営農支援部
プレゼン者	信連取引先企業／農林中金アクセラレーターPG採択企業／その他系統関連団体
参加者	県内JA担当者(信用・営農・経済部)／信連営業店担当者

4. 地域密着型金融の取組事例について

『融資で後押しがんばる農家応援事業Ⅱ』(JA信州諏訪)

経緯	農家の規模拡大などで事業費が高額化していることから、融資による資金調達で設備投資等を行う組合員に対して助成を行いました。 ※当該事業は、平成28年度～平成30年度に始まり、平成31年度（令和元年度）～令和3年度まで延長。 さらに令和4年度～令和6年度まで再延長。
内容	融資による資金調達で設備投資等を行う組合員に対して、事業費の20%以内を2カ年に亘って助成する事業。 ※単年度の助成上限額 100万円。
成果	令和6年度 実績 融資件数：19件 融資額：97,470千円



4. 地域密着型金融の取組事例について

懸賞品付定期貯金「Slow風土」

- 「地産地消」や「地域に根ざしたJAバンク」をテーマに、「JAらしさ」を追求した取り組みとして、長野県内の農畜産物等を景品とした懸賞品付定期貯金「Slow風土」（スローフード）に取り組みました。

内容	商品	Slow風土2024	Slow風土デジタル2024
	貯金種類	スーパー定期貯金（単利型）、スーパー定期貯金（複利型）	
	預入期間	1年、2年、3年、4年、5年	
	預入金額	20万円以上	1万円以上
	抽選	20万円を一口として抽選を行い、当選者へ20品目の中からお選びいただいた信州各地の自慢の逸品をプレゼント。	1万円を一口として抽選を行い、当選者へ20品目の中からお選びいただいた信州各地の自慢の逸品をプレゼント。
取扱期間	令和6年10月1日～12月30日		
成果	令和6年度は募集総額約300億円のお申し込みがあり、多くのお客さまに大変ご好評をいただきました。 金融商品を通じ長野県内の農産物をPRすることで、地元農産物の魅力を再確認していただき、地産地消の促進と農業所得増大への貢献を目指します。		



長野県JAバンクは、
今後も様々な取り組みを通じて
農業者と夢を共有し、
長野県農業を応援して参ります



長野県JAバンクは県下JAと長野県信連の総称です

